

事業名	消毒液・マスク供給支援事業			基本計画	章	2	総合戦略	基本目標	
事業コード					節	3		施策の方向	
課係名	高齢者支援課	内線			項	1		施策	
担当者氏名		職名			細項目	2		整理番号	

事業概要
 新型コロナウイルス感染拡大防止を図るとともに、高齢者の生命の安全確保のため、市内の高齢者福祉施設に対し、入手が困難になっている消毒液（手指消毒用アルコール）、マスク等を供給する。

現在の課題や市民要望など
 高齢者福祉施設においては、食事、入浴、排せつ等のため、「密」が避けられず、新型コロナウイルス感染者が発生した場合には、施設閉鎖や持病もあり免疫が弱り、状態が急激に悪化し、死亡する事例が発生している。
 現在、新規感染者数は減っているが、今後第2波、第3波が発生するとの予測もされており、終息の見通しが立っておらず、市内高齢者福祉施設では消毒液、マスク等が不足している状態である。

事業目的
 ① 市内高齢者福祉施設の利用者等の感染リスクを低減させるとともに感染拡大を防止し、高齢者の生命
 ②

個別取組
 ① 市内高齢者福祉施設に消毒液、マスク等を配布する。 ②

事業による改善・変更点
 ① 消毒液、マスク等が供給され、施設の衛生状態が改善される。 ②
 ③ ④

事業対象
 個人・世帯 団体(民間) 団体(公共) 内部管理 その他 ()

内容
 ① 市内高齢者福祉施設(199施設) ②
 ③ ④

業務形態
 全部委託 一部委託 直営 負担金・交付金 その他 ()

内容
 ① 施設に消毒液、マスク等を配布 ②
 ③ ④

支出根拠
 有 無 法令要綱：① ②
 等名称：③ ④

事業継続
 単年度 複数年度：無期 後年度負担 有 無
 複数年度：有期[始期 ~ 終期] 内容

事業費の積算	R2 年度	①消毒液(手指消毒用アルコール) 200缶(1斗缶)×42,331円=8,466,200円	事業費	13,719	事務スケジュール	年月 内容 (臨時交付金内示後) 消毒液等を発注、施設へ 配布
		②アルコールディスペンサー 199施設×5,390円=1,072,610円	国 県	13,719		
		③マスク 46,050枚÷2,500枚=19 19×220,000円=4,180,000円	市 債			
		①+②+③=13,718,810円	そ の 他			
			一般財源	0		
			国 県			
			市 債			
			そ の 他			
			一般財源	0		
				国 県		
		市 債				
		そ の 他				
		一般財源	0			

経費節減効果
 有 無 節減効果の内容

金額 千円

主要指標	指標の種類		計算方法	目標(推計)値		
	名称			年度	年度	年度
	■ 活動指標	①				
	②					
■ 成果指標	①					
	②					

事業評価シート【新規事業-2】

項目別評価	1. 実施主体・目的の妥当性		<ul style="list-style-type: none"> ・自治体が関与すべき事業か。民間で実施できないか。 ・総合計画における目的に合致するか。課題解決に結びつくのか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 妥当である B. 改善する余地がある C. 妥当ではない	消毒液、マスクは未だ需給逼迫しており、市が積極的に支援する必要がある。
	2. 事業の有効性		<ul style="list-style-type: none"> ・意図した成果は確実に得られるか。 ・類似の目的を持つ事業はないか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 有効である B. 改善の余地がある C. 有効ではない	高齢者福祉施設では、消毒液、マスクは依然として不足している状態のため、支援を早急を実施することで、感染拡大のリスクが低減される。
	3. 事業の効率性		<ul style="list-style-type: none"> ・成果を維持したまま費用を削減する余地はあるのか。 ・将来的なコストの増加・増大の要因はあるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 効率的である B. 改善の余地がある C. 効率的ではない	早急を実施するため国の優先供給スキームの活用を考えているが、物品が市場に供給されるようになれば、コストが低減される。
	4. 緊急性		<ul style="list-style-type: none"> ・今実施しなければならない理由。 ・実施しない場合の問題点。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. すぐに実施する必要有 B. 2~3年後に実施する必要有 C. すぐに実施する必要はない	感染拡大を防止し、高齢者の生命の安全確保のため、早急を実施する必要がある。
5. 市民要望・公平性		<ul style="list-style-type: none"> ・どういう市民要望があるのか。 ・受益者負担は適正か。 ・公平性の点から受益の偏り(特定の地域や個人等)はないか。 	
評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)	
A	A. 多くの市民要望有 B. 一部地域・団体等の要望有 C. 要望はない	高齢者福祉施設への支援ではあるが、施設利用者は本市の発展を支えてくれた高齢者であることから、この方達の生命の安全を確保することは、当該高齢者家族を含め市民の理解は得られるものである。	
6. 同規模他市・周辺市町村の状況		<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの自治体で実施、同規模以上の自治体は実施、ほとんど実施していないが先進的な取り組みであるなど、具体的に記述 	
県内でも高齢者福祉施設へマスクの配布は実施されているが十分とは言えない支援量であり、さらに消毒液に至っては、製造メーカーが限られていることもあり、他市でも実施できていない。			

総合評価	■実施計画における位置づけ、財政状況による実現性	
	評価	◎評価理由
	A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない 介護保険サービスの提供を続け、高齢者の安全安心な生活の維持に資する事業であると認められる。
	■政策調整会議による評価	
評価	◎評価理由	
A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	
■庁議による方針		
評価	具体的な方向性	
A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない 担当課の提案どおり実施するものとする。	